

## $\beta$ 遮断薬による心不全の死亡率改善効果について

- ① 心不全に対する $\beta$  遮断薬の予後改善作用が $\beta$  遮断薬の投与量に関連するのか、あるいは心拍数低下の程度に関連するのかについてMoA Allisterらは解析を行っている。
- ② 心拍数低下最大（中間値15b p m、相対死亡リスク0.64b p m）は心拍数低下最小（中間値8b p m、相対死亡リスク0.91b p m）に比べ、有意に生存率改善が認められた。
- ③ 5%の心拍数減少に対して、相対死亡リスク15%減少した。
- ④ 生存率改善効果と関連しているのは、治療開始時の心拍数や治療開始後の心拍数よりも、心拍数低下の程度であった。
- ⑤ 心拍数低下の程度とLVEFや死亡リスク改善が関連した。
- ⑥  $\beta$  遮断薬投与量と総死亡減少との間には、有意な関連はなかった。